



納所小だより

第2回学校評価 特別号

平成31年3月15日
京都市立 納所 小学校
校長 清水 尚
TEL 075-631-2032

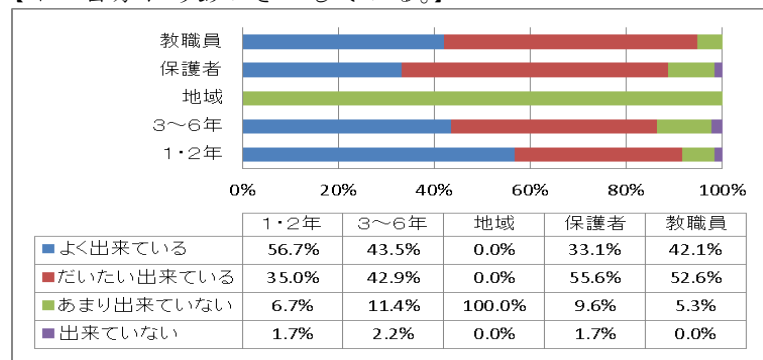
学校評価へのご協力ありがとうございました。集計結果より、児童の意識・実態、そして、保護者や地域の方のおもいや考え、教職員の認識や願いを考察し、児童のよりよい成長へとつなげていきたいと考えます。

※1) 地域アンケートに関しては、児童の様子を見ていただいたの結果となります。

※2) 保護者・教職員アンケートに関しては、児童への働きかけについての結果となります。

※3) アンケート結果を、小数第二位を四捨五入して小数第一位まで表記させていただいているため、合計数値が100%にならない項目もあります。

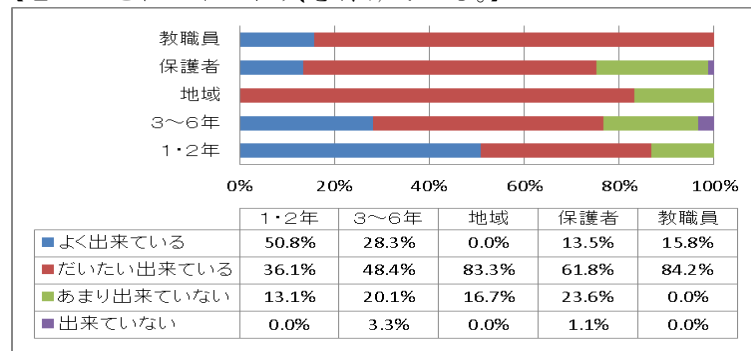
【1 自分からあいさつしている。】



1回目につき80%以上の児童が、「出来ている」と回答しています。「出来ていない」割合は1回目より減りました。教職員の働きかけについても出来ている割合が増えました。継続的に取り組んだ結果の成果と考えられます。

しかし、3～6年の「あまり出来ていない」割合が増えています。また地域の方からは、「学校では、できている様子を見るが、地域ではできていない」という意見をいただきました。今後も、地域・保護者・教職員が継続的に挨拶の働きかけを行い、自分から挨拶する姿を増やしていきたいと考えます。

【2 ことばづかいに気を付けている。】

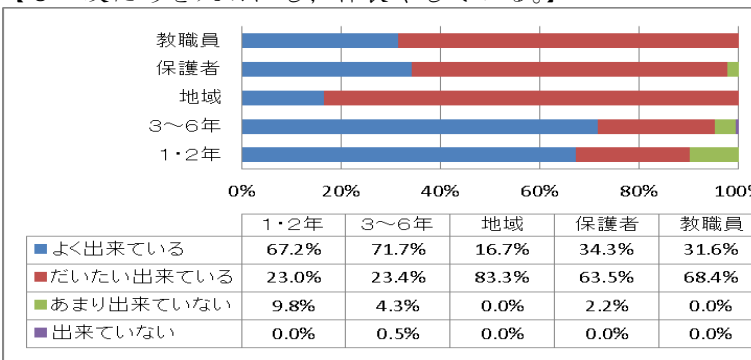


3～6年の「あまり出来ていない」割合が10%減りました。学習場面だけでなく、休み時間においても、言葉遣いを意識しながら活動する様子が見られるようになりました。保護者・教職員の働きかけや地域からの回答結果においても、できている割合が増えています。家庭・学校での取組が、全体的な底上げに繋がってきた結果と考えます。

しかし、1・2年の「よく出来ている」割合が減りました。学校生活において、なれあい原因となつて言葉遣いが意識できていない場面が見られます。

地域の方からは、「地域ではあまりできていない」とのご意見をいただきました。言葉を大切にする必要性について、今後も引き続き指導します。

【3 友だちを大切にし、仲良くしている。】

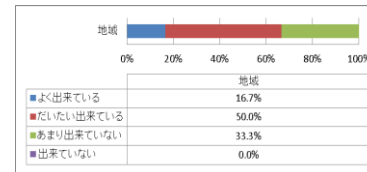


3～6年の「よく出来ている」割合が約17%増え、全児童の「出来ていない」割合が減りました。

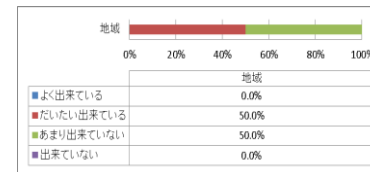
人権教育の取組として、毎月の児童集会で、友だちを大切にすることについて具体的なケースを挙げ、その後、各学級で指導したことがよい結果につながったと考えられます。また、日々の授業において、友だちが発表した時や、話し合いをした時など、友だちを大切にすることを考える機会を取ったこともよかったと考えています。

今後も、日々の授業を中心にして、自分や人を大切にすることを意識できるように取り組んでいきます。

【納所の子はきまりやルールを守っている。】



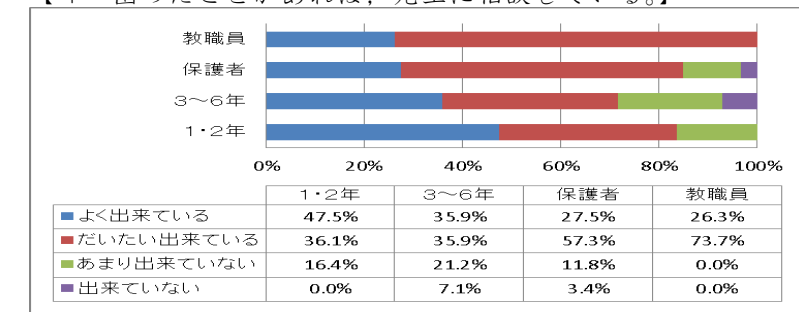
【納所の子は人の話をしっかり聞こうとしている。】



地域でのルールへの向き合い方・話を聞く姿勢について1・2回目とも、「あまり出来ていない」割合が多い結果となりました。

校内でのルールや聞く姿勢への向き合い方をいかに地域に繋いでいくのかが、今後の課題と考えます。

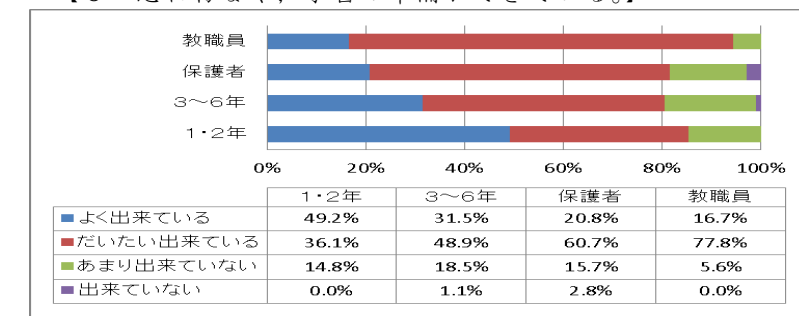
【4 困ったことがあれば、先生に相談している。】



3～6年の「よく出来ている」割合が増えました。日々の学校生活の中で、教職員と児童との関係が深まったと考えられます。

しかし、1・2年の「出来ていない」割合も増えました。児童自身や児童同士で解決ようとする様子が見られる一方、相談しやすい環境づくりが必要と考えます。

【5 忘れ物なく、学習の準備ができている。】



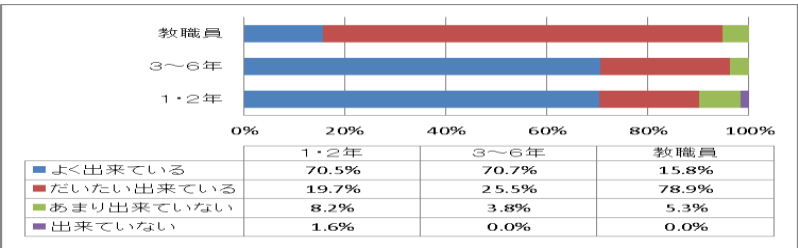
3～6年の「出来ている」割合が増え、「出来ていない」割合が減りました。教職員の働きかけについても、「出来ている」割合が増えました。

実際に忘れ物が減っており、時間を意識して学習の準備を、することができてきました。

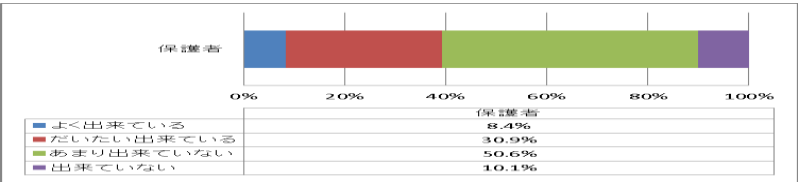
しかし、1・2年の「出来ている」割合は減り、「あまり出来ていない」割合が増えました。忘れ物に対する意識に課題を

感じます。

【６ 係や掃除・給食当番の仕事を最後までできている。】

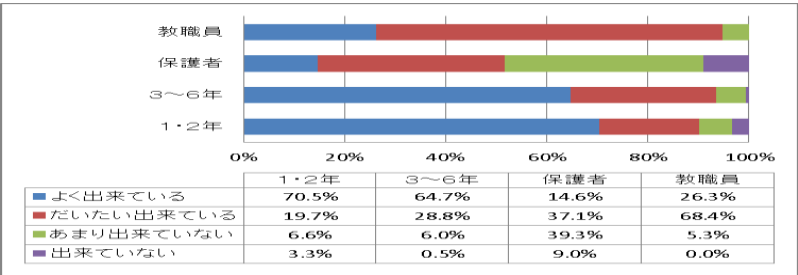


【掃除や片付けの習慣が定着するように役割を決めている。】



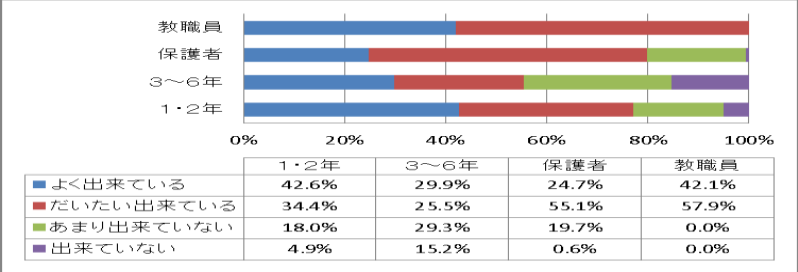
全体的に、「出来ている」割合が増えました。しかし、一部児童の掃除の様子には、課題が見られます。今後も係や掃除・給食当番の仕事をやる意味について考えられるように指導します。

【７ はきものは、そろえている。】



「出来ている」割合は、増えました。今後も、はきものをそろえるだけでなく、身の回りの整理整頓への意識を高めることが必要と考えます。

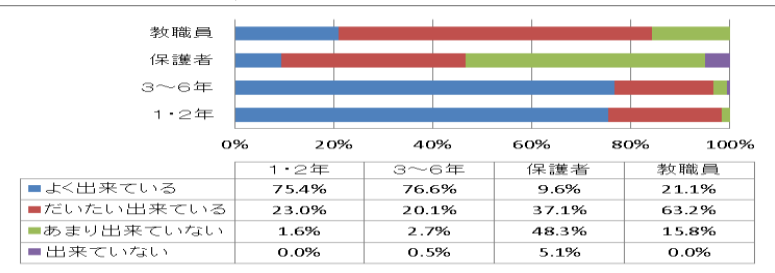
【８ 自分のよいところを言える。】



１回目と比べ、１・２年の「出来ている」割合が減りました。また、３～６年の「よく出来ている」割合が増えましたが、「出来ていない」割合も増えました。

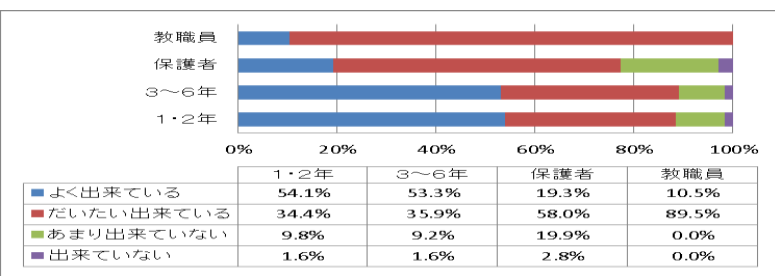
日々の授業の中で、今以上に児童一人一人が活躍できる場面を増やしていきます。また、家庭・地域でも児童の良さを認め、褒めることを大切にしていきたいものです。

【９ 災害の時の命の守り方を知っている。】



１回目につき、９０％以上の児童が、「出来ている」と回答しています。また、「出来ていない」と回答した割合は、１回目より減りました。命を守ることへの意識が、高まっています。今後も、命の守り方についての指導を推進していきます。

【１０ 授業がよく分かる。】

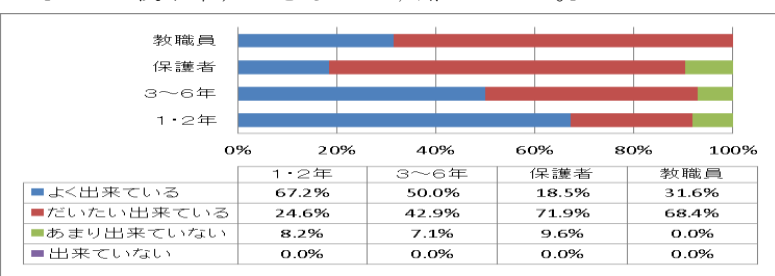


前回同様、ほぼ９０％の児童が「出来ている」と回答しています。また、「出来ていない」割合は、前回より減りました。しかし、「よく出来ている」割合は、前回よりも少し落ち込みが見られました。

授業を受ける態度からは、意欲的に学ぼうとしている様子が見られる一方、学習内容の定着に課題が残ります。

今後も各教科の授業改善に努めていく必要があります。

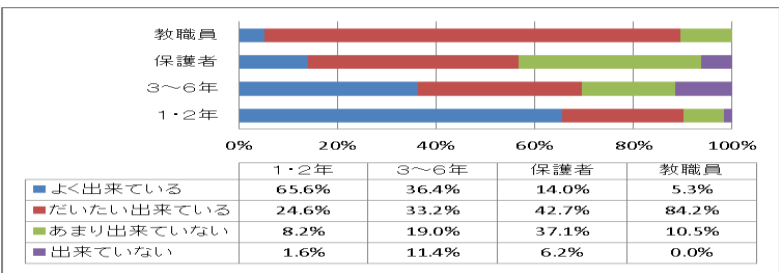
【１１ 授業中、話をしっかり聞いている。】



前回同様、９０％以上の児童が出来ていると回答しています。しかし、内容を理解しながら聞いているかについては、課題が残ります。どのように聞けばいいのか、大切な所はどこなのか等聞く視点を明らかにし、授業を行う必要があります。

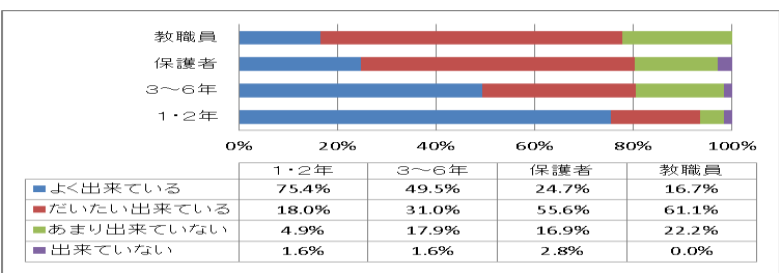
今後も、児童・地域・保護者の皆様と一層コミュニケーションを図り、開かれた学校づくりをしていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。

【１２ 授業中、発表している。】



１回目と同じく、学年が上がるに伴い「出来ていない」割合が増えました。日々の授業の中で、自分のおもいや考えを表現する場を積極的に設定し、発表する機会を増やしていきます。また、一人一人が自分のおもいや考えを発言しやすい学級集団へ、高める必要があります。

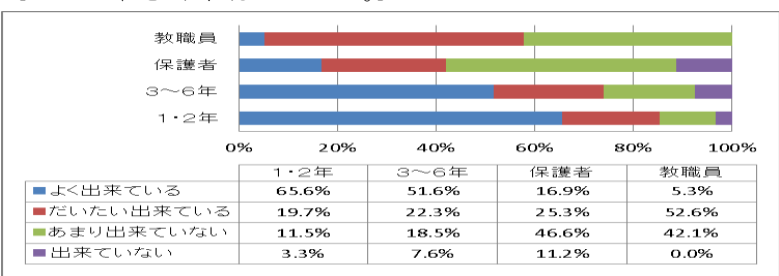
【１３ 家庭学習に進んで取り組んでいる。】



３～６年の「出来ている」割合が１回目と比べて、増えました。保護者・教職員の回答においても「出来ている」割合が増えました。

家庭・学校での働きかけを今後も行い、授業内容と家庭学習の連携を進めていきます。そして学ぶ楽しさ、わかる喜びに迫りながら、学習を進めていけるようにします。

【１４ 本をよく読んでいる。】



１・２年の結果は全体的に「出来ていない」割合が増え、３～６年の結果は全体的に「出来ている」割合が増えました。学年が上がるにつれて、授業で学校図書館を活用する機会が増えていることが結果に繋がっていると考えます。今後も積極的に学校図書館を活用することで、読書習慣の定着を目指します。